

第9章 ダイオキシン類

1 概 要	134
2 測定結果	134



1 概 要

ダイオキシン類は、工業的に製造する物質ではなく、ものの焼却の過程などで自然に生成してしまう物質です。そのため、環境中には広く存在していますが、量は極めてわずかです。

現在の日本の通常の環境汚染レベルでは、ダイオキシン類によってガンになる可能性は低いものと考えられています。

令和5年度の測定結果は、全て環境基準を達成しています。（表9-1）

2 測定結果

大気および水質（河川、海域）の測定は、毎年同じ場所で継続的に実施しています。地下水及び土壌の測定は、市内を4区分（那覇、首里、真和志、小禄）し、ローリング方式で実施しています。令和5年度の対象地区は真和志地区でした。

表9-1 ダイオキシン類測定結果

測定項目			測定場所	測定回数	検出濃度範囲	環境基準値（単位）
大気	一般環境		那覇市保健所	4	0.0037～0.0095	0.6（pg-TEQ/ m ³ ）
水質	河川	水質	国場川真玉橋	1	0.60	1（pg-TEQ/L）
		底質		1	5.5	150（pg-TEQ/ g）
	海域	水質	那覇港海域泊港	1	0.15	1（pg-TEQ/L）
		底質		1	14	150（pg-TEQ/ g）
	地下水		ハンタガー	1	0.025	1（pg-TEQ/L）
土壌	一般環境		那覇市立松城中学校 グラウンド	1	1.9	1,000（pg-TEQ/ g）